

プログラム

日時：平成27年12月15日（火）～16日（水）

場所：筑波大学 東京キャンパス文京校舎 134講義室

総括班会議 11:00-12:00

領域会議（第1日目）

領域代表挨拶 13:00-13:15

セッション1 13:15-14:45 座長 小柳 義夫

- | | | |
|-----|-------|--|
| 1-1 | 藤田 尚志 | Analysis of innate immune responses in SFTSV infection |
| 1-2 | 米山 光俊 | 宿主RNA結合タンパク質 (RBP) によるウイルス感染応答と細胞機能制御 |
| 1-3 | 小柴 琢己 | ウイルス感染とミトコンドリアタンパク質 |
| 1-4 | 宮澤 正顯 | 細胞内複製制限因子APOBEC3の進化要因としての異種由来レトロウイルス |
| 1-5 | 高折 晃史 | APOBEC3とHIV-1 Vifの機能解析 |
| 1-6 | 片平 正人 | APOBEC3GのDNA認識機構、スライディングを支える相互作用、活性のVifによる阻害 |

Break 14:45-15:00

セッション2 15:00-16:45 座長 佐々木 顕

- | | | |
|-----|-------|---------------------------------------|
| 1-7 | 脇田 隆字 | |
| 1-8 | 松浦 善治 | フラビウイルスの感染性粒子産生における分泌性膜結合蛋白質の役割 |
| 1-9 | 小原 道法 | 肝炎ウイルスの排除・持続感染化に関わる宿主因子の動物種及び臓器特異性の解明 |

- 1-10 竹安 邦夫 Structural Analysis of Long Single-Stranded RNA Molecules with Atomic Force Microscopy Imaging
- 1-11 朴 三用 インフルエンザウイルスタンパク質の核移行に関する構造生物学的研究
- 1-12 野田 岳志 ウイルス増殖機構の動的イメージング解析
- 1-13 岩崎 憲治 インフルエンザウイルスvRNP複合体の転写・複製スイッチング機構の解明

Break 16:45-17:00

セッション3 17:00-18:45 座長 柳 雄介

- 1-14 竹田 誠 インフルエンザウイルスHAストーク糖鎖の役割に関する研究
- 1-15 植木 尚子 大型二本鎖DNAウイルス：多因子・多層制御による宿主感染機序の理解を目指して
- 1-16 川口 寧 単純ヘルペスウイルスの小胞媒介性輸送の解析
- 1-17 朝長 啓造 RNAウイルス複製場の形成と崩壊における核内コンピテンシーの解明
- 1-18 伊庭 英夫 ウイルス感染を制御する「宿主micro RNA」の研究
- 1-19 夏目 徹 感染体-宿主ネットワーク解析
- 1-20 大場 雄介 ウイルス感染コンピテンシーの不均一性を決定する宿主因子の同定

懇親会19:30-

くいもの屋 わん 九州自慢 茗荷谷店
 〒112-0012 東京都文京区大塚1-4-10 銀嶺ビル3F
 参加費：4,500円（領域会議受付時徴収）

領域会議（第2日目）

セッション4	8:30-10:00	座長	脇田 隆宇
2-1	高田 礼人	フィロウイルスの細胞侵入メカニズムと宿主域に関する研究	
2-2	柳 雄介	パラミクソウイルスの受容体とトロピズム	
2-3	荒瀬 尚	ウイルスの宿主細胞選択におけるエンベロープの糖鎖機能	
2-4	小池 智	ウイルスの標的組織決定における攻防-IFNλによるポリオウイルス粘膜感染の防御-	
2-5	佐々木 顕	インフルエンザウイルス抗原進化予測: ベイズ更新過程として	
2-6	小柳 義夫	HIV感染抑制分子	
Break	10:00-10:15		
セッション5	10:15-11:45	座長	藤田 尚志
2-7	永田 恭介	マイナス鎖RNAウイルス複製におけるウイルスと宿主の攻防	
2-8	久保 允人	インフルエンザウイルスの認識と応答	
2-9	一戸 猛志	ウイルス感染によるNLRP3 inflammasomeの制御	
2-10	俣野 哲朗	宿主間の感染伝播におけるHIVゲノム・病原性の変化に関する研究	
2-11	杉田 昌彦	ウイルスリポペプチドを標的とした新たなCTL応答 ～その分子基盤と機能～	
2-12	川崎 拓実	ウイルス感染防御におけるイノシトールリン脂質の役割	
評価委員講評・事務連絡	11:45-12:00		